○東北地方の火山活動

管内月間火山概況（平成 31 年４月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（５月 10 日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル２（火口周辺規制）	吾妻山
噴火予報	レベル１（活火山であることに留意）	岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、蔵王山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、栗駒山、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（４月１日～５月 10 日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

吾妻山では、22 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）から１（活火山であることに留意）に引き下げ、５月９日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを１（活火山であることに留意）から２（火口周辺規制）に引き上げました。

その他の予報警報事項に変更はありません。

岩木山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山［噴火予報（活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田［噴火予報（活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

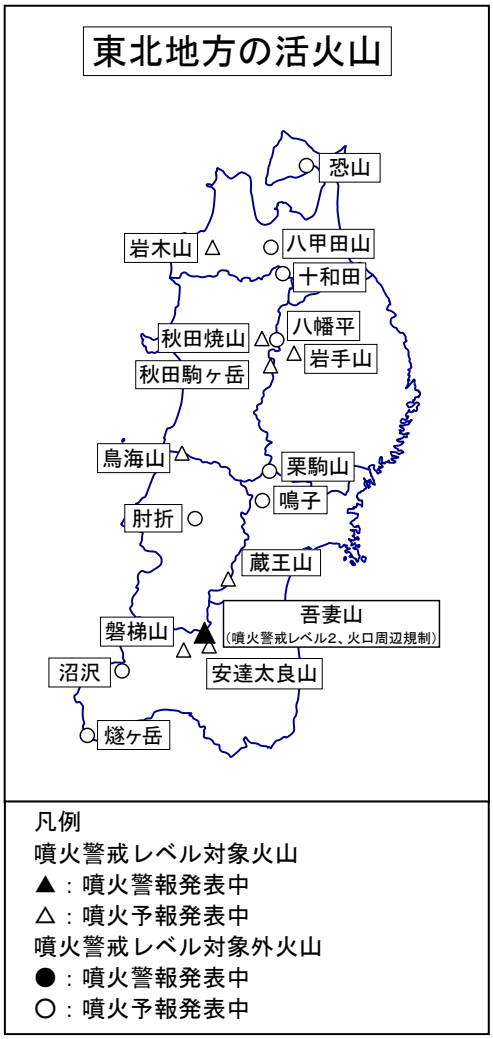
岩手山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はありませんでした。

男女岳（おなめだけ）山頂付近では、2017年９月以降、火山性地震がわずかに増加する傾向が認められています。また、女岳（めだけ）では地熱活動及び噴気活動が続いていることから、今後の火山活動の推移に注意してください。



鳥海山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山［噴火予報（活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はありませんでした。
蔵王山では、2013 年以降、時々、火山性地震や火山性微動が発生し、地殻変動がみられるなど、火山活動が高まることがありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

吾妻山［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］←22 日に噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）から１（活火山であることに留意）に引下げ、５月９日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを１（活火山であることに留意）から２（火口周辺規制）に引上げ
大穴火口周辺の隆起・膨張を示す地殻変動は、2018 年 12 月上旬頃から次第に緩やかになり、４月は概ね停滞しました。また、火山性地震は２月以降減少傾向がみられ、火山性微動は 2018 年 12 月 23 日を最後に観測されていません。これらのことから、大穴火口から概ね 1.5km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったものと判断し、22 日 14 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）から１（活火山であることに留意）に引き下げました。
その後、５月５日頃（期間外）から火山性地震が多い状態で経過し、９日 17 時 30 分頃からは大穴火口方向上がりの明瞭な傾斜変動がみられるなど、火山活動の活発化が再び認められることから、９日 18 時 40 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）に引き上げました。
吾妻山では、今後、小規模な噴火が発生する可能性があります。
大穴火口から概ね 1.5km の範囲（図１）では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。
地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。
また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

安達太良山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ（https://www.jma-net.go.jp/sendai/）や、気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。
資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html
この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号　平29情使、第798号）。